

牛牧小だより

February 24th, 2022 No.11

自分たちの学びを地域に発信する6年生

総合的な学習の時間にずっと福祉について学んできた6年生。自分たちが学んできたこと、見つけたこと、そして「自分たちに出来ることは何か?」について考えたことを地域の方々にも聞いていただく機会を市の社会福祉協議会の方々のご協力を得てつくることができました。

まん延防止等重点措置が発出され感染状況が危惧される中、牛牧小学校の6年生の教室と地域のコミュニティーに集まっていたただけた方々をオンラインでつなぐ形となり、どれだけの地域の皆様方に来ていただけるのか正直心配しました。せっかくこの日のために準備をしてきた6年生児童の気持ちを考えると、延期や中止にはしたくないとも思いました。しかし、実際にオンラインでつないでみたら、本当に多くの地域の皆さんにご参集いただけていて、本当に有り難かったです。画面を通してでの交流となりましたが、次につながるとても良い会になりました。「もっとコミュニケーションをとりたい」と願った時に、「こちらから声をかける」とか「野菜をおうちに届ける」とか方法を工夫してコミュニケーションをとってみる。もし町にある点字ブロックが壊れていたら、自分では直せないけれど市役所の人に声をかけることで何とかできるかもしれない……こうして「自分たちができること」をいろいろと考えて発信していました。参加者の方からは「やってあげるといってではなく、一緒にやるという気持ちが大切だ。」とも教えていただきました。自分たちが考えたことを発信していろいろな人にも聴いてもらうという体験は、これからとても大切になってきます。最後の最後にとてもよい学習ができた6年生でした。



うれしいお知らせです

<1>地域の方から新しいプリンターが寄贈されました

そろばんの学習でお世話になっている伊藤学園さんから、今年度はプリンターをご寄付いただきました。伊藤学園さんは牛牧小学校のために毎年ご寄付をしてくださっています。こうして地域の方に支援をいただけるのは本当に有り難いことです。



<2>PTAから新しい図書が寄贈されました

今年度もPTAから児童用図書の寄贈がありました。図書室に並べられた新書は、取り合いとなるのでしょうか。2月24日(木)の昼の放送でPTA会長さんから寄贈のお知らせがあります。図書室で本の貸し借りができるのも3月の上旬までです。寄贈された新書を早く読みたいですね。

